

海外渡航の前に

麻疹（はしか）の予防接種も お忘れなく！

麻疹にかからないためには、
予防接種が最も効果的です。

十分な免疫をつけるには、
追加接種をお勧めします。

- 2015年、日本はWHO（世界保健機関）から麻疹排除国として認定されました。しかし、麻疹は今でも東南アジア、アフリカなどで流行しており、輸入感染症として、国内で散発しています。2017年4月に金沢市内でも麻疹の発生がありました。
- 20歳代後半～40歳代前半（S.48.4.1～H2.4.1生まれ）の方は、麻疹の定期予防接種の機会が過去に1回しかなく、免疫が不十分な年代と考えられます。
- 予防接種を希望される方は医療機関にご相談ください。麻疹風疹混合（MR）ワクチンが一般的です。予防接種の効果が出るまでに2週間程度かかります。
- 任意の予防接種は有料です。費用は医療機関にお尋ねください。
- 妊娠の可能性がある方や妊娠中の方は、麻疹の予防接種を受けてはいけません。また、接種後は約2か月の避妊が必要です。
- 渡航先、渡航期間により、麻疹の他にも必要な予防接種があります。

海外渡航の予定がない方（特に20歳代後半～40歳代前半の方）も、国内で麻疹が発生した場合に感染する可能性があるため、追加接種をお勧めします。